

スムーズな発券を可能にせよ！

車掌新型車携機について業務委員会開催！

車掌新型車携機が導入され現場で働く車掌からバッテリーの持ちが悪い。発券処理に時間がかかる等、使い勝手が悪いとの声が噴出しました。東海労名古屋地本は、8月3日、「申第6号 車掌新型車携機の申し入れ」を行い、その業務委員会が、10月11日に開催され7項目について議論してきました。

切実な要求に対し、会社回答は、「そのような考えはない」「現行のとおりとする」と誠意ある回答ではありませんでした。

予備電池は3個以上貸与しているが、 最高何個貸与しているかは判らない？

新型車携機は、通信機能等が付加されたため従来の物とは比較にならないほど電池消耗が早く、充電に苦労しています。予備電池を多く貸与されても充電は、本体にセットされていなければできません。電池のみを急速に充電できる設備を要求しましたが、貸与品紛失に繋がるとの理由で実現されませんでした。電池を複数個持たされているのも貸与品紛失に繋がるとは思いませんか？

また、現行貸与されている携帯電話をスマートフォンに変更し通信機能は、そちらに持たせ車携機は、発券機能のみとする案を出しましたが、費用がかさむと、受け入れられませんでした。

全線区で全ての乗車券発券を可能にすべきだ！

在来線の多くの線区は山間部、トンネルがあり通信状態が悪いため新型車携機ではオフラインとして現在、対応しています。しかし、オフラインでは発券出来ない乗車券類もあり苦労しています。新しい機器を導入するのは結構ですが、使用する車掌・お客様が快適でなければ意味がありません。片手落ちの施策では、運転士携帯端末CAST導入と同じように現場では混乱を招きます。使える設備投資も必要なのではないでしょうか。

会社は現場で苦労している社員の声を受け止める！！